

栗山町の家達

[応募者名] 氏名：藤島 喬 勤務先名：有限会社 TAU 設計工房 勤務先住所：北海道札幌市厚別区厚別中央1条2丁目9-20
 連絡先（勤務先） TEL 011-891-7067 FAX 011-891-7068 E-mail tau@bj8.so-net.ne.jp

● 栗山町

北海道は空知管内、札幌市と夕張市のほぼ中心に位置する栗山町。人口は約13000人、積雪寒冷地で、夏の平均温度22℃、冬は-8℃です。過疎化は少しずつ進んでいるが、福祉の町造り、地域通貨の実践、国蝶オオムラサキの生息地、日ハム栗山監督の住む山荘があり、話題性の豊富な元気な街です。農業を基幹産業として、商業、工業共にバランスのとれた街で、私はここで生まれ、高校生まで暮らしました。

● 栗山町での設計活動

栗山町の家達第1号が完成したのは、今から25年前、地域のオピニオンリーダーとしての小学校教諭の住宅でした。ソファーを持たない吹抜けのある小さな居間には、堀ゴタツが用意され、多くの人が訪れました。訪れる人のつながりから、口コミで徐々に広がり、年に1~2棟のペースで住宅の設計依頼を受けました。平成24年には、33号、34号の住宅が完成しました。これらの住宅は、2代目の世代になりました。

● 設計手法

多くの住宅地は、敷地面積は約100坪単位と広く、雪に対して三角形の屋根を形成し、アプローチを兼ねた車庫と主屋を雁木空間でつなぎました。自然落雪を

主眼とし、どうしても落雪できない商店街では、無落雪屋根として、通る人の目の高さ、1層分の外壁をセラミックレンガ、2階部分にガルバリウム鋼板を使用して街並みへの統一感を計りました。

住宅以外では、創業135年の老舗、小林酒造の蔵群の一部、保存と再生を行いました。「なつかしホール」と名付けた150名のコンサートホールとレストランへの改修と蔵群を結ぶ、回廊を改修し、石炭ボイラーをそのまま露出させオブジェ化して「酒蔵広場」を造りました。酒造には、年間10万人の来客者があり、街のシンボルとなっています。

● 長く街と向き合うこともサステイナブル

私の設計手法は、上位計画ではありません。直接、建主と会話をして造り上げる、積み上げ方式です。従って、その活動から、小さな街ですが、点であり、線そして面にはなっていません。しかしながら、廻りの住宅、建物に何らかの影響を及ぼしていると思っています。

ひと所で息の長い設計活動を通して、豊かな暮らしの形成と同時に、街並み、地域造りに、少しでも貢献出来ればと思っています。長く町と向き合う事も「サステイナブルデザイン」のひとつと思っています。

◆栗山町MAP



◆栗山町 縦立



雁木空間の形成



街並みの形成



歴史的建造物の保存と再生

